

2017年6月16日

中国事情研究部会 2017年第1回研究会報告

報告者：中国事情研究部会 山本忠士

2017年度第1回の中国事情研究部会について、以下ご報告いたします。

日時：5月27日（土）11時45分～13時45分

場所：新宿小田急ハルク

講師：寺井融氏（アジア母子福祉協会常務理事，中央大学非常勤講師）

テーマ：「中国と周辺国－ミャンマーの新動向」

出席者：8名

<概要>

アセアン諸国の経済発展は順調に推移しているように見える。たとえばミャンマーの経済成長は7%である。しかし、アウンサンスーチー氏が実質的な最高指導者であるNLDの政権運営は、必ずしも順調とばかりは言えないようである。130以上ともされる多民族の問題もあるが、「文民政権」の誕生以来、山積する諸課題に十分に対応できていないこともあって、期待の高かった分、失望も大きいということである。

今後、スーチー氏の政治手腕が、適時適切に発揮されないようであるなら指導力の一層の低下は、避けられないであろう。



研究会風景

2017年度第2回研究会（予定）について

日時：7月8日（土） 11時45分～13時45分

場所：小田急ハルク 8階「叙々苑(個室)」 03-3340-8989

講師：李虎男氏（延辺大学科技学院教授、東北アジア研究所長略歴については添付ファイル参照）。

テーマ：「中国と北朝鮮の教育交流について」（仮題）

会費：2000円

*多数のご参加をお待ちしております。

*連絡先：山本忠士 080-6688-1662

以上